

国民の世論と運動で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年6月4日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

くらし・社会保障を改善させる国民的大運動を！

道社保協20回総会 広がる「生きていけない」現実やたかいを交流

6月1日（土）、北海道社保協第20回総会が行われ、全国各地から62名が参加しました。自公・民主政権の悪政によって、道内でも「生きていけない」現実が広がり、今後20兆円以上の国民負担増計画、さらに社会保障の全面改悪がすすめられようとしています。

焦点になっている「生活保護改悪問題」「年金改悪問題」「国保問題」については特別報告も行われ、9人から各分野の現状やたかいなどが報告され交流し合いました。

最後に「社会保障・税の一体改革」をやめさせ、社会保障を拡充させる国民的な大運動、相談活動の強化、住み続けられる自治体・地域づくりなどの1年間方針や予算を確認し、大橋晃会長をはじめ役員も選出しました。



焦点の「生保」「年金」「国保」問題で特別報告 討論では低所得の実態など告発

緊迫する生活保護法改悪、生活保護費の切り下げの影響、9月20日いっせい不服申請などたたかう方針報告

道生連の三浦会長は、申請書提出など生活保護を抑制する改悪法案の問題点や緊迫する国会情勢、厚労省交渉など報告。署名などの推進を提起。基準引き下げでは10%下がる世帯も少なくない複雑な計算式も説明。9月20日いっせい不服審査請求への取り組みを呼びかけました。



下げられ続ける年金 12月支給分から児童・障害者手当も引き下げ 2月には不服申請、年金の拡充の運動を提起

年金者組合の渡部委員長は、これまでも年金の引き下げが続き、低年金・無年金も多く、税金や保険料の相次ぐ値上げで生活が大変。「一体改革」で2.5%年金額削減などが決められ「国民会議」後、さらに改悪が準備されている。年金改善めざして2月の不服申請などの取り組みを呼びかけました。



入院患者にも保険証を発行しない 分納認めず資格証明証の発行も 札幌国保の逆流の実態とたたかう方針報告

札幌社保協の斉藤事務局長は、札幌市で2001年資格証明証で手遅れ死も相次いだこともあり保険証発行など改善させてきた。最近、差押え強化や、国が認めた資格証明書の入院患者への保険証も発行しない、納付相談にに応じている世帯にも資格証発行など逆流が広がっている。6月11日決起集会など改善の取り組みを報告。



討論では9人が発言しました。

「生活できない」1000人以上の実態調査報告【新婦人】

今春「65歳以上の女性」「働く女性」の二つのくらしのアンケートを行い1000人以上集まりました。低年金で生活が大変になっていること、働く女性の調査に70代が回答するなど深刻な実態が寄せられた。参議院選挙に向けて紙芝居をつくり、政治とくらしなど議論しています。



障害者は低所得。交通費、医療費助成拡充を【障道協】

私たち障害者は貧しいです。多くが生活保護が少ない障害年金で暮らしています。精神障害者は定期的な通院が必要です。旭川の患者はほとんど札幌の病院へ高い交通費をかけて通院しています。精神障害者も交通費助成の対象を広げる運動をしています。



「働く労働者も大変です」【福祉保育労】

福祉労働者も低賃金です。ある23歳の保育士の例です。手取り月12万円で、家賃や奨学金・教育ローン返済などでほとんど残りません。最低賃金大幅引き上げの運動もすすめています。



十勝社保協から「今年の社保学校は11月10日帯広です」と案内もあり、ホームレス支援活動(函館)、子育て・保育、生活保護問題、介護改善なども報告されました。

参議院選挙で「くらしや社会保障」を大争点に押し上げましょう

まともなくらしを保障させよう！決起集会 社会保障・税一体改革をやめて、社会保障を拡充させよう

【日時】6月22日（土）14時～【場所】共済ホール（北4西1）

集会後は、中心街をパレードする予定です。

